

秋田工業高校近況

秋田県立工業高等学校 校長

西 聡



東京秋工委会報第24号の発刊、誠にありがとうございます。三平俊悦会長はじめ東京秋工会の皆様には日ごろから母校の充実発展のため物心両面にわたり温かいご支援を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、今年は4年に一度のオリンピックイヤーでリオデジャネイロオリンピックがあります。皆様ご承知のように陸上競技男子マラソン日本代表に選ばれた佐々木悟選手は秋工出身です。(秋工にとってオリンピック選手は1964年の東京オリンピック体操金メダリストの遠藤幸雄さん以来二人目)。去る4月25日、佐々木選手が来校し、本校体育館において激励会を行いました。佐々木選手は平成16年電気科卒で、高校時代は全国高校駅伝に2年連続出場し3区を走り、大東文化大学進学後は箱根駅伝で3年生までは連続して山登りの5区を、4年生ではエース区間の花の2区を走り、好成績を挙げました。卒業後は旭化成に入社しマラソンに力を注ぎ、2年前のびわ湖毎日マラソンで自身初のサブテン(2時間10分切り)を成し遂げ日本人最高で2位、そして昨年12月の福岡国際マラソンで自己記録を更新する2時間8分56秒で日本人最高の3位に入り、見事にリオ代表切符をつかみました。

激励会では全校生徒を前に「目の前の小さな目標を達成しながら積み重ねていくのが自分のやり方。今は目の前の課題に集中して課題をクリアしリオに向かっている」と抱負を語ってくれました。生徒からは質問が相次ぎ、運動部員の「厳しい練習をどうこなすか」「本番で緊張しない秘訣は」などの質問に「練習をただきついでだけ思わずに、きつい練習が当たり前と思うようになれば結果が出る」「レース前は音楽を聴くなど自分の気持ちを集中できる環境づくりを工夫している」

「皆さんも自分の目標に向かって行動すれば必ず良い結果が出る」と答え、全校生徒の校歌とエールには「ものすごく声が出ていて感動した。自分たちの頃はそんなに声を出していなかったのでびっくりした」と話しました。

佐々木選手の中学時代はソフトテニス部所属で、駅伝大会にも助っ人として出場していました。そして中学3年の時、地区大会でアンカーを務め優勝。ゴールテープを切った感激が忘れられず、長距離走に惹かれていき、長距離を走るなら秋田工業だとして、本校に入学したと伺いました。一つの感動体験が人の生き方を決定づける起爆剤になったということだと思います。

この3月にはラグビー部が全国選抜大会に出場し、2年ぶりとなる全国の舞台に立ちました。埼玉県熊谷ラグビー場にはたくさんの同窓生が応援に駆け付けてくださいました。部員たちは今、県予選、そして花園の本番に向け捲土重来を期すべく連日気合いの入った練習を続けています。

生徒には様々な教育活動を通して、起爆剤となるような機会を提供してまいります。東京秋工会の皆様には変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。(H28.4.30記)



リオ五輪出場 佐々木 悟 母校講演

澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一
(昭和26年 電気科卒/東京秋工委会名誉会長)

弁理士 澤木 紀一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail : sawaki.pat@mbd.nifty.com